

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月1日

事業所名 U-KID' SMOMODANI

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			・室内の構造化を行い、場の意味や活動の切り替えがわかりやすいようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	80%	20%		・10名の利用者に対し、職員4名、パートスタッフ1名~2名の配置を行っています。	・基本人員は適切であるが、時々人手不足を感じることもあるため、人員を増やして対応していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	60%	40%		・パーテーションを使用し、活動場所を区切って対応しております。	エレベーターは設置されていますが、手すりやスロープなどの設備はないため、今後設置を検討していきたいと考えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%			・職員間で情報を共有し、現在の状況やその後の対応について話し合いながら取り組んでいます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			・毎年のアンケートをもとに結果を職員間で共有、改善に向けて取り組んでいます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			HPにて公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	20%	60%	第三者の設定は現在協議中です。	
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			月に一度、スキルアップのため研修を行っています。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%			・アセスメントツールにてアセスメントを行い、支援計画の作成、課題の設定を行っています。また半年に1度の懇談で状況説明を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%		・アセスメントツールにてアセスメントを行っています。各職員が適宜確認できるようにしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			・企画やレクリエーションについて、現在のご利用者様に向合う活動をチームで話し合ってお実施しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			・日ごとのプログラムを職員で意見を出し合いながら設定しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	20%		当日のスケジュールは来所される方に合わせて、課題の設定を行っております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%			・自発的なコミュニケーション支援と、スケジュール等の理解コミュニケーション、感覚運動遊びなどを組み合わせ実施しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			・送迎の確認やお子様一人ひとりの対応等細かく確認し、支援が円滑になるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%			・学習や普段の様子等細かく共有するようにしています。	・当日の設定によってはパートタイムの職員の参加が難しいことがあるため、時間調整を行っていきます。また、これまでよりも多くの意見を取り入れられるよう、振り返りに参加できない職員向けの伝言板を準備したいと考えています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			・記録をもとに次回の課題設定を行っています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%			・半年に一度モニタリングを実施。職員間で話し合い、次期の計画内容を検討しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%			ガイドラインに沿って日々のプログラムを調整しております。		

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			・基本的には児童発達支援管理責任者が対応を行っていますが、必要に応じて職員を1名追加で参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	80%	20%		必要に応じて連携をさせていただいております。	・下校時間の変更なども迅速に対応できるよう、日々のやり取りの中で丁寧に確認を行っていただくと考えております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%			・現在医療的ケアが必要な方の受入れを行っていませんが、必要に応じて対応を検討していきたいと思っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	40%	20%	40%	主に保護者様、相談支援事業所、保健福祉センターとの情報共有に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	33%		学校を卒業される年齢の方がおられないため、障害福祉サービスへの情報提供は行っていませんが、これまでの支援内容を保護者様にお伝えしております。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%		60%		現在児童発達支援センターなどの交流がないため、今後は交流や連携を視野に入れて対応していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20%		80%	近所の公園では遊びにきている子ども達と交流する機会があります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	75%		25%	社会福祉協議会が行う学童期子ども支援連絡会に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			・帰迎の引継ぎ時や、電話・メールを用いて事業所での様子をお伝えしたり、ご家庭の様子の子の聞き取りを行っています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	60%	20%	20%	懇談を通して、現状の課題をお伝えし、必要に応じてご自宅でもできる取り組みの提案をさせていただいております。		
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			・契約時に細やかに説明を行っている。必要に応じて再度説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			・ご利用者様の状況に合わせて取り組み内容の変更や、課題の再設定を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			100%	一部保護者様が取り組まれている活動の広報のお手伝いをさせていただいております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			苦情解決体制を整備しております。また苦情があった際は即時に対応できるようにしております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%		20%	・月のイベントカレンダーの配布とInstagramを通じた活動報告を行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	100%			・施設外へご利用者様の情報が漏れることがないよう、契約書を策定し、研修も実施しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			・視覚的な情報の提供や、具体的な伝達方法を用いています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100%		現在、地域住民へ向けた活動の取り組みなどを行っていません。今後の取り組みにかんしては対応協議中です。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%			各種マニュアルは策定しております。近後はHPに内容をアップロードする予定です。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%		定期的に様々な内容で訓練を実施しております。 ・防災訓練はしているが、実際の避難経路を移動する練習までには行っていないため、今後取り組んでいきたいと思っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			・年に1度全職員対象の研修を行っています。また、虐待防止委員の設置をしております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%			・身体拘束については個別支援計画に記載し、事前に保護者様に了承を得ております。また、やむを得ず身体拘束を行った際は、状況と対応を説明しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%		・保護者を通して対応方法のやり取りをしております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			・気づきがあった際は記入を行い、全職員に周知、再発防止に努めています。	